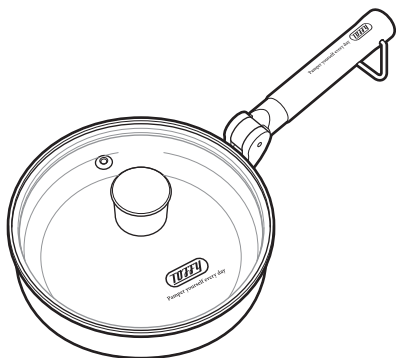


TOFFY おりたためるフライパン ガラス蓋付 16cm

品番：K-NB1

家庭用



ユーザーズガイド

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品はお使いになる前に必ず本書をお読みいただき、正しくお使いください。
本書は読み終わったあと、大切に保管してください。

LADONNA

安全上のご注意 必ずお読みください

- 表示**は、してはいけない「禁止」内容です。
- 表示**は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。
- 禁止**
 - 鍋・フライパン以外の用途で使用しないでください。思わぬ事故の原因となります。
 - 空だきをしないでください。火災・変形・破損やけど・外面塗装の損傷・ふっ素樹脂加工の劣化などの原因となります。万一、空だきをした場合は水などをかけて急冷しないでください。変形の原因となります。
 - 縁まで油や水などを満たした状態で使用しないでください。
 - 調理後は、内容物を入れて保存しないでください。ふっ素樹脂加工の劣化やはがれの原因となります。
 - 多量の酢、重曹などの酸性またはアルカリ性のものは使用しないでください。アルミニウムに腐食が生じる場合があります。
 - ふっ素樹脂加工の表面で材料を刻まないでください。ふっ素樹脂加工を傷付けます。
 - 天ぷらや揚げ物料理には使用しないでください。油温が200℃以上に達すると、火災の原因となります。
 - 落とす・ぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。故障・破損・変形の原因となります。
 - ストーブの上では危険ですので使用しないでください。
 - オープン・電子レンジでは使用しないでください。故障や火災の原因となります。
 - 火のそばにガラス蓋を置かないでください。破損ややけどの原因となります。
 - 落下させたりして、大きな衝撃を与えてしまったガラス蓋は、外観上異常がなくても使用しないでください。破損ややけどの原因となります。
 - 本製品は一般家庭用です。業務用として使用しないでください。故障・けがの原因となります。業務用の高出力・高熱のコンロ・調理機器では対応しきれない場合があります。
 - 持ち手や蓋つまみがゆるんだ状態で使用しないでください。脱落してけがやけどの原因となります。ねじを締め直してからご使用ください。
 - 持ち手や蓋つまみにガタツキ・破損がある場合、改造や応急処置などの手当てをして使用しないでください。破損・やけどの原因となります。

製品仕様

品名	Toffy おりたためるフライパン ガラス蓋付 16cm
品番	K-NB1
製品サイズ	約 165(W) × 68(H) × 185(D)mm (おりたたみ時) 約 165(W) × 90(H) × 320(D)mm (展開時)
重量	約 600g (ガラス蓋使用時)

本体	表面加工	内面：ふっ素樹脂塗膜加工 外面：焼付け塗装	
	材料の種類	本体：アルミニウム合金 はり底：ステンレス鋼 (クロム 16%) 底の厚さ：約 2.6mm (はり底を含む) 持ち手：天然木	
		寸法	16cm
		対応熱源	対応熱源 (100V・200V) ※オープン・電子レンジ不可

ガラス蓋	品名	強化ガラス製器具
	強化の種類	全面物理強化
	その他の材料	縁リング：ステンレス鋼 蓋つまみ：天然木

生産国	中国
付属品	専用ガラス蓋、ユーザーズガイド

商品改良のため、本製品の仕様やデザインは予告なく変更されることがあります。

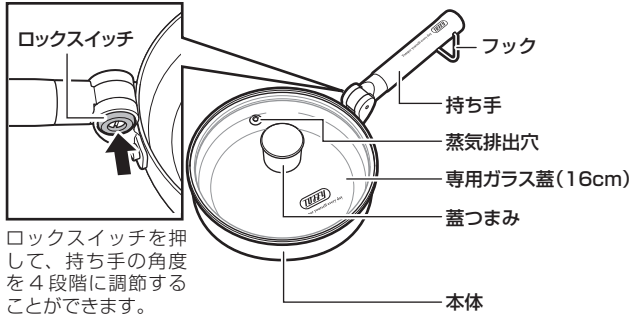
お客様ご相談窓口 0570-024-389 ※IP電話など一部の電話からのご利用はできません。受付時間 10:00~18:00(土・日・祝日を除く)

商品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、「お客様ご相談窓口」にご相談ください。
※お問い合わせの際は品名・品番をご連絡ください。

株式会社ラドンナ 〒135-0031 東京都江東区佐賀1-5-9 永代MKビル
http://ladonna-co.net/ 2018-①

- 禁止**
 - 調理前に、持ち手が使用位置で固定されていることを必ずご確認ください。持ち手が収納位置の時は使用しないでください。持ち手の破損・やけどの原因となります。
 - 調理中は、持ち手の角度の調節をしないでください。やけど・事故の原因となります。
 - 指示**
 - 調理中や調理直後は、本体・持ち手・蓋つまみが熱くなっています。特にお子様の手に触れないようご注意ください。やけどの原因となります。
 - 加熱器具の中央部にのせ、安定した状態でご使用ください。
 - 吹きこぼれや煮こぼれしないよう、ご使用ください。
 - 故障・ガス消火の原因となります。
 - 熱伝導のよいアルミニウムを用いています。塗膜保護のためにも火力は中火以下でご使用ください。
 - 電磁調理器でご使用の場合、熱源を入れて「強」で加熱すると急激に鍋底を加熱し、引火点に達することがあり少量の油を入れた時、引火する危険があります。また、油がこぼれたり、鍋底が変色や熱膨張により変形（凹凸やガタツキ）する原因となります。
 - 火力は中火以下で調節してください。
 - 炒め物の調理の際には薄く油を引いてください。
 - 油の過熱により火災の危険があります。調理中に場所を離れる場合は必ず火を止めてください。
 - 調理の際は、プラスチック製または木製の調理器具をご使用ください。金属製の調理器具は使用しないでください。
 - ふっ素樹脂加工がはがれやすくなります。
 - お使いの加熱器具の取扱説明書を読み、正しくご使用ください。
 - 味噌汁など調理物によっては、調理中や温め直しの際に、突沸現象により内容物が噴き出したり、場合によっては鍋が転倒する場合があります。危険ですので以下事項を厳守してください。
 - ① 温め直す際は火にかける前に、お玉などでよくかき混ぜてから加熱してください。
 - ② 強火で一氣に加熱しないでください。
 - ③ 調理中もお玉などでよくかき混ぜながら温めてください。
- ご使用前に、持ち手が角度調節・固定されること、内面のふっ素樹脂加工がはがれていないことを必ずご確認ください。

各 部 名 称



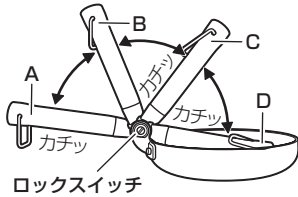
ロックスイッチを押して、持ち手の角度を4段階に調節することができます。

使 い か た

初めて使用するときは本体・ガラス蓋ともに食器用洗剤を付けて、スポンジなどで十分に洗ってください。

持ち手は使用と収納に応じて、4段階で角度を調節できます。

1. ロックスイッチを押して持ち手を動かしてください。
2. 使用位置または収納位置でロックスイッチが戻ります。
3. 持ち手の角度が固定されたことを確認してください。



A: 使用位置、B:C:D: 収納位置

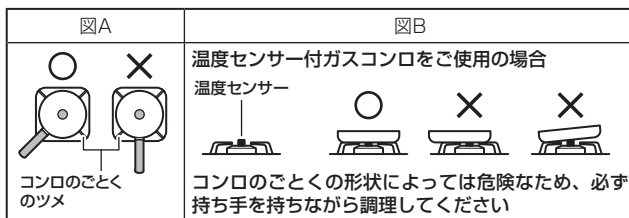
持ち手の角度調節時に指などをはさまないように注意してください。

注意

- 木製の持ち手や蓋つまみはご使用状況により、ヒビや割れが生じる場合があります。割れが広がってきた場合は危険ですので使用しないでください。
- 調理前に、持ち手が使用位置で固定されていることを必ずご確認ください。調理中、持ち手が収納位置のときは使用しないでください。持ち手の破損・やけどの原因となります。
- 調理中は、持ち手の角度を調節しないでください。やけどの原因となります。

ガスコンロで使用するときのご注意

- 炎が製品底面からはみ出さないようご使用ください。炎がはみ出していると、持ち手がこけて大変危険です。異臭・やけどの原因となります。また、隣接するコンロの炎が持ち手にあたらさないよう、向きを調整してください。
- 本体はコンロの中央部にのせ、安定した状態でご使用ください。片寄った状態でのご使用は、転倒や、持ち手の加熱による破損の原因となります。
- 転倒防止のため鍋の持ち手とコンロのごとくのツメの方向が同じになるようにのせてください。(下図A参照)
- コンロの形状や調理量によっては転倒することがありますので、持ち手を持ちながら調理するようにしてください。
- 安定しない場合があるので、空の状態でごコンロに置かないでください。
- 極少量の水を入れての沸騰は避けてください。水のない部分が高温となり、変形・変色・火災の原因となります。
- 温度センサー付きガスコンロでご使用の場合は、転倒によるやけどや火災などの危険がありますので、本体をコンロの中央に置いて温度センサーが確実に沈み込んでいることを確認してください。(下図B参照)



電磁調理器で使用する際のご注意

- 効率よく加熱して頂くために、鍋の底に付着した水滴はきれいに拭き取ってからご使用ください。
- 火力は中火以下で調節してください。
- 本体はヒーターの中央部に置いてください。
- 加熱中に「ブーン」といった音が生じる場合がありますが、ヒーターと鍋の振動の波動が共鳴するために生じるものです。製品の異常ではありません。鍋の位置をずらすか、置き直すと止まることがあります。
- 本体に変形やガタツキが生じた場合は使用しないでください。
- お使いの加熱器具の取扱説明書を読み、正しくご使用ください。
- トップレート(天板)に置いたまま本体をずらしたり、あおったりしないでください。摩擦や衝撃の影響によりトップレートを傷が付く原因となります。

ガラス蓋の取扱上のご注意

初めて使用するときは食器用洗剤を付けて、スポンジなどで十分に洗ってください。

- 蓋つまみを取るなど分解しないでください。
- 高いところから落とすなど、急激な衝撃を与えると傷付いたり、破損することがありますのでご注意ください。
- 強化ガラスは破損すると破片が細くなり、激しく飛散します。もし誤って破損した場合、手を切らないように取り除いてください。
- ガラス蓋は傷がつくと破損しやすくなります。ガラス同士、あるいは硬いものにぶつけないようにご使用ください。
- ガラス蓋をずらして使用しないでください。部分的に加熱すると破損の原因となります。また、落とし蓋の代わりに使用しないでください。
- 耐熱ガラスではありません。蓋が熱いうちに水の中に入れて、水をかけたり、濡れた布で触れるなど、急激な温度変化は避けてください。破損の原因となります。
- 蓋以外には使用しないでください。
- 蓋には蒸気排出用の穴があります。噴出する蒸気でのやけどの危険がありますので、蒸気排出穴の位置をよくお確かめのうえご使用ください。特に、持ち手の方向に向けられないようご注意ください。
- 電子レンジ、オーブンでは使用しないでください。

※落としたり、傷が付いたり、直火にあててしまったガラスは、外観上異常がなくても「強化処理」をした表面のバランスが崩れ、ある日突然粉々に割れる場合がありますのでご使用を中止してください。

お手入れのしかた

- 熱を持ったまま冷水につけると表面加工・塗装を傷めてしまいますので、十分冷ましてから洗ってください。
- ご使用後は食器用洗剤を付けて、スポンジなどで十分に洗い、水気を拭き取り乾燥させてください。お手入れが不十分だと白い汚れが付着してくる場合がありますが、水道水中の微量成分が残留したものです。人体に入っても問題ありません。
- 研磨剤を含む洗剤や、磨き粉、金属タワシなどは絶対に使用しないでください。傷が付いたり、変色・変形の原因となります。
- 焦げ付きなどを落とす場合は、金属製の固いものを使用しないでください。お湯に浸して焦げ付きを柔らかくしてから取り除いてください。
- 食器洗浄機・食器乾燥機などには使用しないでください。変色・変形・破損などの原因となります。
- 塩分や酸などを含んだ汚れを付着させたまま放置したり、湿気の多い場所での保管はしないでください。錆の原因となります。
- ステンレスや鉄などの異種金属製品と接触させたまま放置しないでください。錆の原因となります。
- お手入れが不十分だったり、内容物を入れた状態にしておくと、ふっ素樹脂加工がはがれたり、ぶつぶつ状になる場合があります。こびりつきやすくなるのでご注意ください。
- ふっ素樹脂加工は、食品衛生法に適合したものを使用しているため、万一使用において傷付いてはがれて人体に入っても問題ありません。

注意

- つけ置き洗いは絶対にしないでください。持ち手部分から水が入り、持ち手内部のねじ・根元部分の腐食や、再加熱の際に熱くなり、やけどの原因となります。
- お手入れの際、持ち手や蓋つまみ、ロックスイッチになるべく水分が入らないようご注意ください。腐食や錆の原因となります。